



創立記念式典

今年度、国分寺東小は創立40周年の節目を迎えました。そこで、10月28日(水)、晴れやかな空の下、創立記念式典を挙行了しました。

小林記念事業実行委員長のあいさつの中で、全児童に配布する航空写真をプリントした記念の下敷きとタオルがご披露されました。続いて校長の

話の後、ご来賓を代表して池澤 勤市教育長より祝辞をいただきました。そして、在校生代表が「感謝の言葉」を立派に発表し、全員で元気に校歌を歌って終了しました。

開会前には、教室で40年間の歴史を振り返るスライド(ナレーションは6年生全員で担当しました。)を視聴し、閉会後には記念植樹「ハナミズキ」の石碑除幕も行いました。

新型肺炎流行のため、一時は開催の見送りの検討も検討しましたが、関係各位のご尽力により規模を縮小しながらも無事に開催することができました。実行委員会の皆様、PTA本部役員の皆様には、大変なご苦勞をおかけいたしました。紙上を借りて御礼申し上げます。なお、会議室には、創立以来の卒業アルバムや過去の周年記念誌・航空写真が展示してあります。当日視聴した記念スライドも見られますので、来校された際は、職員室にお声かけの上、どうぞご覧ください。

(冬休み前まで展示予定です。)



記念植樹石碑除幕

児童代表の感謝の言葉(一部抜粋)

「多くの方たちの努力で続いてきた歴史ある学校に、ぼくたちは今、通うことができます。そう考えると、とても誇らしい気持ちになります。ぼくたちはあと半年で卒業になりますが、先輩たちが築き上げてきた伝統のバトンを、しっかりと後輩たちに引き継いでいけるよう、残された一日一日を精一杯がんばっていくことが大切だと思いました。そしてこの先、50年、100年と国分寺東小学校が続いていくことを心から願っています。」



10月12日 児童表彰式

市長様、教育長様をお迎えして、下野市の児童表彰条例に基づく「児童表彰式」が行われました。今回は、参列者を保護者の皆様と在校生の代表として5年生に加え、ご来賓の学校運営協議会の皆様のみとしました。また、例年であれば市長様より、一人一人メダルを首にかけていただき、激励の握手をしていただくのですが、今回はケースに入ったメダルを手渡しする形にとどめるなど、新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと行いながら実施しました。

参列者に見守られる中、6年生がそれぞれに、「健康」「努力」「学芸」「体育」「明朗」「親切」「友情」の7つの賞のメダルを市長様から授与していただき、教育長様からは表彰状をいただきました。

さらに、市長様からは「そのメダルには、皆さんに期待する市民の願いが込められている。」「これからの皆さんが生きる道しるべにしてほしい。」「卒業までの時間をどう過ごすかが大切。」と、温かい励ましのお言葉もいただきました。

卒業を控えた6年生にとって、これまでの自分をしっかりと振り返り、将来にむけての気持ちを新たに、目標について考える機会となりました。

児童代表のお礼の言葉(一部抜粋)

「これまで努力してきたことを認めていただき、ほめていただいたことはとても励みになります。私たちをよく見て、選んでくださった賞に恥じないよう、中学校でもがんばりたいと思います。卒業までの残り少ない時間、友達や先生方との一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。」



10月20日 第2回「下野市新聞の日」

今年度、下野市で取り組んでいる「『下野市 新聞の日』新聞を楽しむ体験事業」。その第2回目を行いました。全ての児童が一部のマイ新聞を持ち、学年に応じて、興味を持った記事を見つけてじっくり読んだり、切り抜いて感想を書いたり、記事の内容に関する問題作りをしたりする活動に取り組みました。

初回の9月1日には、新聞をひろげるのにも手こずっていた子供たちも、スムーズに活動に入り、「これ、知ってる」「おもしろい」などつつばきながら紙面を読み込んでいました。

こうした活動を通して、自分に必要な情報を探したり、事実を正しく読み取り、いろいろな角度から考えたりする力を身に付けてほしいと思います。

